

と協議して設置します。

◎マンホール  
下水道管内の検査、掃除等の出入口の役目と共に、通風換気、管の接続点として必要であり、主に交差点等の中間に設けられます。

◎終末処理場  
下水道の心臓部ともいえるもので、汚水を物理的、化学的に処理し、水質公害の起きにくい水質に浄化して放流します。

### 下水道建設費の一部は、受益者から負担してもらいます

下水道の完備によって処理区域内の皆さんは、汚水の完全排除や水洗便所の利用など下水道のない地域に比べて快適な社会環境が造られ、文化生活が営まれます。

このようなことから、公共下水道建設にかかる費用について、国庫補助金、町費、起債(借金)によってのみまかなうことは、一部の市街地にとくに利益をもたらす事業であるだけに、町全体からみると不公平になるといわねばなりません。そこで、この事業を行う区域内の土地所有者や借地権の権利をもっている方(これらの方を受益者といいます。)(に事業費の一部を負担してもらいます。

#### ◎負担金のかかる土地

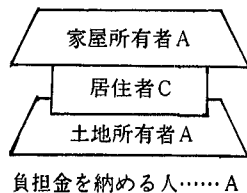
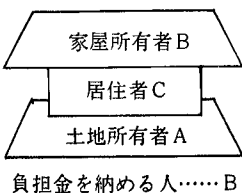
公共の用に供されている土地(公道、水路、公園など)を除いて、全ての土地に対して賦課されます。

#### ◎負担金の額

土地一平方メートル当り三〇〇円くらいを予定しておりますが、この単価については町議会の議決を経て決定されます。

#### ◎負担金を納める人

公共下水道を布設する区域内における土地を所有している人です。しかし、権利の目的となっていない土地の場合は土地の権利者(地上権利者、使用借主又は賃借人等)が地主と相談して納めていただきます。



## 下水道とは

下水道とは、家庭の台所、風呂などの生活汚水、工場、事業所などの事業系排水を集めて処理し、河川などに排除する施設です。また、雨水を集めて河川に排除するものも下水道です。

各市町村ごとに生活汚水や工場排水を集めて終末処理場で処理するものですが、本町では、県が実施している場合は、信濃川下流域下水道(新津処理区)に属し、新津処理場で処理されますので流域関連公共下水道といわれております。

#### 下水道の種類

- ◇ 公共下水道(分流式)  
特定公共下水道、特定環境保全公共下水道、流域下水道、都市下水路の総称です。  
本町では、汚水は公共下水道で、雨水は都市下水路で排除する方法を採用しております。
- ◇ 都市下水路  
市街地の雨水を排除するためのもので、降雨時の浸水、洪水被害を防ぐことを目的としております。本町では道路側溝、農業用排水路により排除する方法で処理されております。

### 各地区ごとに

#### 説明会を開きます

この公共下水道工事に着手する前に、各地区ごとに説明会を開催する予定です。  
下水道工事の内容はもとより、私設排水設備工事費用や受益者負担金の金額なども詳しく説明が行われますので、そのときは出席してください。

# より住みよいまちづくりのために 公共下水道事業が着手されます

わたしたちの生活にとって水はなくてはならないものです。わたしたちは、生活の中でいろいろな形で水を使用していますが、いったん使用され、きたなくなった水をそのまま川へ流し、汚濁を招いております。そのために、カやハエの発生源になったり、川や海がよごれる原因になっていきます。

そこで、これらのきたない水をきれいにして川や海にもどしてやろうとするのが公共下水道です。

この公共下水道が、今年度からいよいよ工事に着手されることになりました。

#### 58年度には、一部の地域で使用できます

小須戸町の公共下水道計画は、市街化区域全域(一六二ヘクタール)を対象とするもので、全部が完成するのは昭和七十年年度の予定ですが、今年から始まる第一期工事は、町部の市街化区域全域(八五ヘクタール)を対象で、建設費十五億一千五百万円で、完成は昭和六十年年度を目標としております。そして、昭和五十八年度には一部の地域で使用できるようにする予定となっております。

#### 公共下水道のしくみ

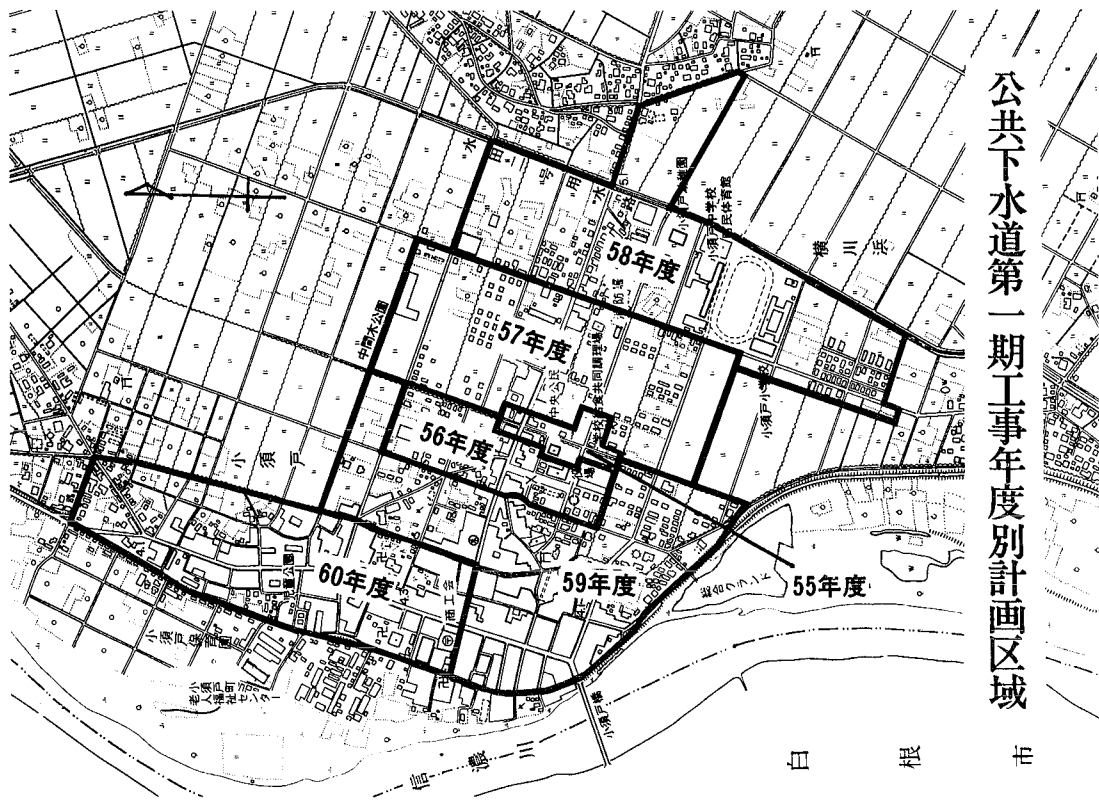
公共下水道は次頁左上の図のようになっております。ここでは、主なものを掲載しました。

#### ◎私設排水設備 (自己負担です)

各家庭の台所や風呂、便所から出される汚水を排除するために設ける設備で、公共水

#### ◎汚水ます

各家庭や工場の汚水を本管に接続する役目を持ちます。設置位置については各家庭



公共下水道第一期工事年度別計画区域